

(9) 平成25年(2013年)2月23日

土曜日

「白い小箱」配布へ

日本非常食
推進機構
多気町が災害協定

【多気郡】多気町は二十日、「白い小箱」運動を展開している日本非常食推進機構と、災害時物資調達協定を締結した。「白い小箱」は非常食や

飲料水、防寒シートなど一人分の災害物資を梱包した。各家庭に配布、非常時に使うと同時に、有事には災害地への救援物資として使う。

同機構は県をはじめ松阪市や熊野市などでも締結。県内全市町と結ぶ予定。

この日、町役場で調印式があり、久保行央町長と古谷賢治代表理事が調印後、白い小箱を手渡した。

久保町長は「万一の時の備えになる」と感謝。三月三日に同町相可の町民文化会館で開く防災フォーラムの会場で、先着三百人に小箱を配ることにしている。



災害時協定を交わした久保行央町長（左）と古谷賢治さん。多気町役場で。